

## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：呼吸器内科 今井 亮介

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 呼吸器内科 今井 亮介

# 急性呼吸窮迫症候群(ARDS)と間質性肺炎急性増悪の入院患者を

## 対象とした CT 画像に関する研究

### 1.研究の対象

2006年1月～2016年3月に当院にARDSまたは間質性肺炎急性増悪で入院された方

### 2.研究の目的・方法

急性呼吸窮迫症候群 (ARDS)は、肺における炎症と浮腫を主体とし、急激な経過で両側性浸潤影と低酸素血症を呈す非常に重篤な疾患です。重症患者の治療の進歩にもかかわらず、ARDSの30日死亡率は40-60%と依然として高いままです。ARDS診断時のCT所見により、予後やステロイド反応性の予測ができる可能性があると考え、今回ARDSや間質性肺炎急性増悪診断時の特異的なCT所見と予後の関係性を検証することを目的としています。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2018年3月31日までの予定です。

### 3.研究に用いる情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、治療歴、採血結果、CT結果、カルテ番号、転帰、人工呼吸器非使用期間 等